

第 3 回

ゴーヤプロジェクト通信簿

～ゴーヤ栽培 1 チーム～

(葛西・菊地・渡辺・新美・森下・工藤・鹿野)

ゴーヤプロジェクトが始まって約3ヶ月が経ちました。3ヶ月経ち、初物のゴーヤを収穫できるまでに成長し、ツルもネットに収まらなくなるほどに成長していきました。

6月末に材料を切断して、本支柱を建てる準備を進めていきました。ですが、進めていく中で問題点も見つかりました。問題点として、建てる際の安全性について指摘をいただき、対策を話し合った結果、解決策として「足場」を組み立てて、その足場を利用し組み立てるという案が出てきました。さらに問題となったのは、「本当に組めるのか、地盤等は大丈夫か」ということです。この問題を解決するために工事部の方々に協力していただいて、安全で組み立て可能であること証明するために試験をした結果、組み立て可能という結果になり、7月14日に足場及び支柱の組み立てが行われることになりました。

実際に組み立てる際は、パイプ同士を番線で固定して組み立てる予定でしたが、鉄同士だと滑ってしまうという意見をいただいたので、クランプを使用して固定することにしました。

7月14日に無事組み立てが完了し、7月17日に新しいネットの設置が完了しました。収穫祭に向けて新入社員全員で協力して進めていきたいです。

工事チーム 鹿野 翔太



第 3 回

ゴーヤプロジェクト通信簿

～ゴーヤ栽培 2 チーム～

(藤原・石黒・浅田・石川・新留・平野・牧)

製造 1 チーム 日比野 剛

7 月に入り 30°C を超える猛暑日が続き、蝉の鳴き声が夏を感じさせる季節になりました。ゴーヤの成長は留まることなく仮の支柱で張ったネットを覆いました。

そこで、予定を早め支柱材料の切断を製造 1 チームへお願いし、支柱の設置に取り掛かる計画をしていたのですが、工事グループ・安全環境管理室の様々な方から助言を頂いたところ、初期の支柱案では、支柱同士の結束に番線を用いる予定だったのですが、「鉄同士では結束力が弱く滑ってしまい施工面で大変危険」という助言を頂きました。なので、新たな支柱案を考え結束にはクランプを使用し、安全を考慮し「足場」を用いた支柱の設置を行いました。狭い花壇では足場の建設もスムーズに行かず、工事グループ協力の下、花壇の地盤調査を行い製造 2 チーム浅井様の協力を頂き足場の設置を行うことができました。足場を設けたことで安全に支柱の施工を行うことができ、ネットの設置を行うことができました。

支柱を設置するにあたり配属された部署の上長に協力を依頼し、様々な方からの助力があったからこそ達成することができたと思います。今回感じた感謝の気持ちを忘れず仕事への誠意で恩返しができるよう精一杯頑張りたいと思います。

